

# 塗位牌



1-1  
紫檀【天寿呂門】輪島上塗 五毛粉仕上

寸法	高×幅×奥行	札幅	紫檀	黒檀
3.5	177×73×42	45	¥237,600	¥261,000
4.0	202×79×42	49	¥250,800	¥271,800
4.5	220×85×45	50	¥264,000	¥282,600
5.0	240×93×50	55	¥277,200	¥300,600

A24

NEW



1-2  
黒塗リ【天寿呂門】輪島上塗 五毛粉仕上

寸法	高×幅×奥行	札幅	価格
3.5	177×73×42	45	¥184,800
4.0	202×79×42	49	¥191,400
4.5	220×85×45	50	¥204,600
5.0	240×93×50	55	¥224,400

A24

NEW

## こだわりの仕上げ

金消粉のなかでも、特に純金の使用率が高く西陣織などの高級金糸、高級仏壇などに使用される国産五毛粉で仕上げた線取り

輪島塗伝統工芸士 中門博氏監修による漆上塗り加工



## 輪島塗伝統工芸士 中門 博

中門漆師は、昭和元年の創業以来輪島塗に携わってまいりました。輪島塗はその歴史の深さから、素材や作業工程に様々な工夫があり、また様々な時代に合ったものを積み重ねたものが現代の輪島塗となっています。

伝統工芸とは、昔と変わらぬ高品質なものを作る技術を守るところにあります。私は輪島塗は先人たちのたゆまぬ努力と、試行錯誤、創意工夫の歴史であるとも考えます。

先人の技術を守ること、試行錯誤、創意工夫を続けることの両方が合わさったものが、輪島塗の伝統工芸であり、新しい輪島塗を工夫・創作していくことで更なる品質の輪島塗が出来ると思っております。

私もはこのことを胸に刻み、変わらぬ良いものと、今までなかった新しい輪島塗の両方を製作してまいります。



天寿楼門炎の札板には、輪島上塗屋の輪島塗伝統工芸士 中門博氏監修による漆上塗り加工が施され、伝統工芸士のこだわりを映した艶やかな美しさを誇っています。



MASTER OF TRADITIONAL CRAFTS  
輪島塗伝統工芸士 中門 博

## 略歴

- 1958年 輪島市生まれ
- 1980年 父、中門 守に弟子入り (輪島塗、伝統工芸士)
- 1996年 金沢、蛇の目画廊出展
- 1997年 金沢、桜々展出展
- 2000年 輪島塗見本展、輪島漆器組合長賞受賞
- 2002年 輪島塗見本展、県知事賞受賞
- 2003年 輪島塗見本展、市長賞受賞
- 2008年 輪島塗工芸総合コンテスト、輪島商工会議所会頭賞受賞
- 2011年 第四十六回全国漆器展 入選、林野庁長官賞受賞
- 2012年 2012伊丹国際クラブ展入選
- 2014年 いしかわ伝統工芸フェア2014、優秀賞「おくれなハイカラ工芸」
- 2014年 金沢城・兼六園大茶会工芸作品展、入選
- 2016年 New York katonah Hammond Museumにて「カジュアルな漆」講演
- 2016年 金沢城・兼六園大茶会工芸作品展、入選
- 2017年 金沢城・兼六園大茶会工芸作品展、入選

輪島塗本来の塗りの技術、技法を生かし、今までに無い色使いと、技法で変わり塗りを編み出し、特技としている。今後は和だけでなく、洋の分野にも進出出来る色彩感覚を磨いて、他に類を見ない作品創りに励みたいと思っております。

輪島市二ツ屋町  
輪島塗伝統工芸士  
中門 博

